



現和の子

やさしく・かしこく・たくましく

令和5年度学校だより
西之表市立現和小学校
令和5年11月24日発行



言葉で伝え合うこと

校長 横山 政文

先月に行われた風本神社秋季大祭では、慰霊祭・文化祭・敬老会を含め多くの催しが開かれました。現和小の子供たちも、運動会で発表した「棒踊り」を再度練習し、当日は、大勢の前での見事な演舞でした。これまで2か月に渡り、田之脇集落の棒踊り保存会の皆さんに丁寧にご指導いただき感謝申し上げます。さらに、大祭後半の各地域伝統芸能披露では、それぞれの集落に伝承される踊り等を堪能することができました。毎日練習を繰り返して努力を重ねられたことがよく分かり、現和地域全体のパワーを改めて感じる見応えあるひとときでした。出演された皆様、本当にお疲れ様でした。

さて、県民週間を含む今月は、たんぼぼ会の方による読み聞かせや担任以外の職員が各学年に本を紹介する活動、放送委員会による給食時間でのインタビューなど、自分の思いを言葉で伝え合う取組を行ってきました。

また、先日の臨時PTA総会でもお話しましたが、学校でも家庭でも対話を大切にしたいと考えています。学校での一事徹底事項としても「あいさつ」を取り上げ、年間を通して積極的に行うように呼びかけています。明るい笑顔で「おはようございます」や「こんにちは」に、ひと言添えることも大事にしています。「ありがとうございます」「さようなら」など互いに対面して交わすあいさつには、もともとそれぞれに意味があり、相手に対し自分の心からの素敵な礼として気持ちを伝えることにもつながります。先生や友達、家族や近所の人とのあいさつや対話を通じて自分の思いを言葉で伝えることで、より主体的で心豊かな子供たちに育ってくれるものと考えているところです。

子供たちが生き抜くこれからの社会は、デジタル情報化が益々進むことでしょう。SNSやAI機能が日常化されていく中、真の意味で「語り合う中での関係性づくり」が必要となってきます。私たち職員も、常に子供と向き合い、教児同行に努めていくことを大切にしようと話し合っています。子供一人一人が、自分なりの言葉で心を込めて相手に伝え、相手の話す内容もしっかり聴き取るようにする。今後も、自分の考えをもって、自ら行動できる子供を育てていきたいと考えています。

12月行事予定

1日(金)～7日(木) 校内人権週間	17日(日) PTA門松づくり、忘年会
4日(月) 人権教室	22日(金) 2学期終業式
5日(火) 集合学習(6年)	28日(木) 御用納め
9日(土) 土曜授業	31日(日) 大晦日
16日(土) 青少年育成の日	※29日(金)～1月3日(水) 年末・年始の休日(学校閉庁)

県民週間「学校を見に行こう」週間

1日(水)～7日(火)まで県民週間ということで、保護者、地域の方々が学校の様子を見に来られました。今年も読書月間でもあるからこそ！読み聞かせグループ「たんぼぼ」のみなさんによる楽しい読み聞かせタイムを設定し、子供たちに近い距離で種子島の方言やユーモアあふれる劇などを提供してくださいました。また、音楽発表や生活科の秋祭りなど、各学年に応じた教育活動の様子もご参観いただき、子供たちの活動をたくさん認め、励ましていただきました。これからの学びへの意欲につながります。今年もありがとうございました！



たんぼぼの皆さん！陰ながら練習してくださり、楽しい演出をありがとうございました！

学校関係者評価委員会



1日(水)に県民週間中の授業参観と今年は給食試食もしていただきながら、現和小の課題や次年度の学校経営案等について協議していただきました。いつも評価委員のみなさまには、前向きな助言や励まして学校を温かく見守ってもらっています。心から感謝しています。



西之表市小・中学校合同音楽祭！

今年からすべての制限なしで15日(水)に開催された合同音楽祭。現和小からは3・4年生が学校代表として出演しました。大舞台で発表する緊張感、他校の発表に触れた感動！すべてが貴重な経験となりました。そして、何より本番までの練習で感じ、学び、味わってきた様々な体験こそが一人一人のこれからの力となりますね。

